

## 第2回集会 (SADI 猪苗代、1994)

ホスト：高田伸弘 (福井医大)・藤田博己 (大原研)

会 場：福島県耶麻郡猪苗代町川桁「ホテルリステル猪苗代」

### < 1日目 > 6月3日 (金)

歓迎講演 六角 謙 (野口記念館)：福島県での開催にちなんで

佐藤 侑 (大原研)：大原研究所を顧みて

テーマ：ツツガムシ相の多様性

山本 進 (鹿大・医) 鹿児島県における恙虫と恙虫病の疫学

藤曲正登 (千葉県衛研) ら 生息環境の改変に伴う野鼠およびツツガムシ相の変化

角坂照貴 (愛知医大) ら ロシア極東地域の野鼠およびツツガムシの分布

テーマ：マダニの生態と保有病原体

藤本和義 (埼玉医大) シュルツェマダニの生活史について

中尾昌弘 (佐賀県衛研) ら 九州地方のマダニ相 (第2報) 九州山地におけるマダニの分布

山口 昇 (埼玉医大・短) マダニの輸入例

森本芳弘 (京都府保環研) ら 京都府のマダニ刺症の実態について

石畝 史 (福井県衛研) ら 東北地方の野鼠類とマダニからの *Borrelia* 分離

磯貝恵美子 (北医大) ら シカとライム病

平井克哉 (岐阜大・農) わが国における *Coxiella burnetii* 研究の現況

### < 2日目 > 6月4日 (土)

疫学ツアー

バスにて、野口記念館、阿賀川のアカツツガムシ生息地、喜多方市の見学、磐梯山にてマダニ採集。夜は、会場横の屋外施設で芋煮会。

テーマ：東北のツツガムシ病今昔

橘 芳郎 (竹田病院) 福島県におけるツツガムシ病，自験例を中心に

寺邑能実 (花園病院) 秋田大曲、恙虫病研究所を顧みて

高田伸弘 (福井医大)	寺邑コレクションー恙虫病関係標本の整理考
溝口二郎 (山形県衛研)	山形県におけるツツガムシ病疫学調査
堅物 実ら (新潟大・医)	新潟県のツツガムシと恙虫病
秋山和夫 (宮城県保環セ)	宮城県におけるツツガムシ病の疫学
テーマ：ツツガムシ病原体の特性	
多村 憲 (新潟薬大)	<i>R. tsutsugamushi</i> の血清型とベクター種の関係
浦上 弘 (新潟薬大) ら	<i>L. pallidum</i> 中の <i>R. tsutsugamushi</i> の分布と垂直伝播についての電子顕微鏡学的観察
大橋典男ら (新潟薬大)	台湾で採取の野鼠から分離された <i>Rickettsia tsutsugamushi</i> の血清型と遺伝子の PCR-RFLP 解析
岩崎博道 (福井医大) ら	重症ツツガムシ病に合併した血球貪食症候群
天野憲一ら (秋田大・医)	Weil-Felix 反応はプロテウスの LPS とリケッチア成分の共通抗原性によって起こる

< 3 日目 > 6 月 5 日 (日)

テーマ：居住環境のダニの問題

大滝倫子 (九段坂病院)	老人施設とヒゼンダニ
須藤千春 (名大・医)	木造住宅の屋内性ダニ類の生息状況に影響する居住環境要因の解析

テーマ：マダニ保有病原体の問題

馬場俊一ら (日大・医)	ライム病の皮膚病変
増沢俊幸 (静岡県大・薬) ら	ヤマトマダニ由来 <i>Borrelia japonica</i> の分子生物学的, 免疫学的性状
森 守 (国立予研)	凝集反応によるライムボレリアの抗原解析
磯貝恵美子 (北医大) ら	ライム病スピロヘータの免疫誘導能
佐藤允武ら (青森県環保セ)	PCR 法によるマダニ由来ボレリアからのライムボレリア DNA の検出
藤崎幸蔵 (家畜衛試)	吸血中のマダニ体内における小型ピロプラズマ原虫の発育
矢野泰弘ら (福井医大)	日本産マダニ体内にみられる種々の共生微生物の微細構造

坪井義昌（国立予研）ら 鹿児島県における紅斑熱群リケッチア症の疫学

藤田博己（大原研）ら 徳之島のマダニ保有紅斑熱群リケッチア

吉田芳哉（神奈川県衛研） PCR法によるマダニからの紅斑熱群リケッチアの証明

全体会議 組織委員会：本セミナーの性格および組織について再確認された。